



みなみの風

坂下南小学校
学校だより

NO. 88

R7. 1. 29

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

(文責:校長 菅家 篤)

さあ、学力テスト! =やる気を出すポイント=



勉強でも運動でも、大人の仕事でも同じですが、「やる気を持つ」「やる気を出す」ためには、ポイントが2つあると私は思っています。その一つは、先々ではなく、**身近なところに目標を設定すること**。そして、もう一つのポイントは、**イベントを作ること**です。

今回は、一つ目の「身近なところに目標を設定すること」についてお話しします。

例えば、フルマラソン42.195kmの道のりも、走者はただひたすらこの距離を走っているわけではなく、何キロかごとに区切ったラップタイムを計り、「最初の5キロはいいペースだな」とか、「次の5キロは上り坂になった所でタイムが落ちているな」とか、そういう区切りごとの目標設定と確認を繰り返すことで、結果的に長い距離を走り抜いています。

目標は遠いところに置かなくてもよいのです。短い距離の区切りでタイムを計り、チームの中で競い合ったり、自分の記録の中で競い合ったりして、身近なところで設定していくことも大切だと思います。

これは、スポーツに限らず、**中高生が「イヤだなあ」と思っている定期テストだって**そうです。中学校に入学して、最初に経験する試験がいきなり高校入試だったらどうでしょう。中間テストや期末テストが1回もなくて、「さあ、次は高校入試です」と言われてしまったら、すごく不安になると思います。自分は学年でいったい何番目ぐらいで、順位がどうだったらどの高校に行ける。そういうことがぜんぜん分からないまま、**3年後の高校入試をぶっつけ本番で迎えるなんて大変なことですよ**ね。結構、テストがない気楽さにも飽きてしまうのではないかと思います。やっぱり、「ああ、もう期末テストだよ・・・」なんてブツクサ言いながらも、身近なところに、やらなきゃいけないこと、つまり目標があるっていうのが、いいのではないかと思います。

さて、明日から「学力テスト」が行われます。今、子どもたちは学年の復習に取り組んでいます。

(下の写真は、今週月曜日に、図書室で算数の復習に取り組んでいる6年生の様子です。)

「今日は〇ページから□ページまでの漢字を練習する」、「テスト前日には、ドリルを使って最終確認をする」など、**身近なところに目標をおいて、計画的に自主学習ができたらいいですね。**



さすが6年生、みんな真剣な表情で取り組んでいますね!

